

特定非営利活動法人（NPO）ぷらちなくらぶ

## 平成 21 年(2009 年 , 第 9 回)度通常総会議案書

日 時：平成 22 年(2010 年)5 月 24 日(月) 10：30～  
場 所：本法人の事務所

1.開会挨拶

2.定足数の報告・議長選出

3.議事録署名人選出

4.議題

- 第 1 号議案 平成 21 年度事業報告承認の件
- 第 2 号議案 平成 21 年度決算報告承認の件
- 第 3 号議案 平成 22 年度事業計画（案）承認の件
- 第 4 号議案 平成 22 年度予算（案）承認の件
- 第 5 号議案 役員（理事・監事）選出承認の件

5.閉会挨拶



## 平成21年(2009年)度事業報告書

自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

## .事業

## 1.事業の概括

平成21年度は、子育て支援事業では子育てホームサポート事業は昨年度に比べ利用者が横這い状態であったが、子育てサポーター養成講座、サロン事業では利用者が拡大し、居宅介護事業、訪問介護事業においても利用者数が増加した。また、通所介護事業(独自事業)では3つの新たな事業を実施し、多くの成果を出すことができた。

特に通所介護事業(独自事業)では、地域社会に根ざす特定非営利活動法人が介護・子育て事業で培ってきノウハウを新たな形として、設立理念を達成するための新たな手法を展開することが可能になった事は大きな成果と言える。

## 2.事業活動概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人員	実績額(支出額) (単位:千円)
訪問介護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険訪問介護事業</li> <li>自立支援居宅介護事業</li> <li>ガイドヘルプサービスのヘルパー派遣並びに自立支援生活支援(身体介護・家事援助・外出介護)</li> <li>関係機関の研修並びに協議参加</li> <li>技術向上のための、外部講師による研修</li> <li>定例会による、内部研修</li> </ul>	24時間 毎日	利用者宅及び移動介助先  事務所内	69人  (介護保険30名) 障害者自立支援39名)	足立区内96名	36,161
子育て支援事業	子育てホームサポート事業	6~22時	利用者宅	78人	392人	46,302
	サポーター養成講座	H21.7.3~7.28 H21.10.12~12.13	こども家庭支援センター ギャラクシティー	各5人	100人	
	サロン事業	10~16時 (日祝日を除く)	西保木間 関原 梅島 一時預かり	20人	448名 683名 978名 53人	
居宅介護支援事業	高齢者・障害者等ケアプラン作成としての事業	9時~18時	利用者宅	4名 (H22.3月より1名赴任)	900人 (延べ人数)	8,129
通所介護事業(独自事業)訪問型、通所型	訪問型 ボランティアによる事務局コーディネートと有償スタッフによる在宅生活支援支援	8時~22時	事務所(来所、電話、)利用者宅	5名	5名	14
	通所型 足立公益活動げんき応援事業	H21.11.2~3.31	事務所内	5人	足立区内 約200名	
	小規模多機能型居宅介護事業	H21.12.10~	事務所内	2人	-	
	地域人材サロン事業	H21.9.30~	事務所内	2人	-	

### 3. 事業の成果

#### (1) 訪問介護事業

- ・各利用者の相談等に対し、各ケアマネージャー等に情報提供・問題提起し、円滑なサービスが出来た。
- ・各利用者に対し、関連機関との共通認識・情報の共有化が出来た。
- ・インフォーマルサポートであるご家族に対し、介護技術の助言・提案が出来た。
- ・毎月の定例会・ヘルパー研修を設け、介護技術の向上・様々な事例を元にヘルパーの質・意識の向上につとめる事が出来た。
- ・介護目標に沿ったサービスが出来るようヘルパーとの連携を蜜にした。
- ・「利用者本位」「自立支援」「利用者による選択(自己決定)」を現実のサービス利用において保証するため、東京都介護サービス情報の公表も行った。

#### (2) 子育て支援事業

##### 子育てホームサポート事業

- ・区委託事業として7年目に入り本年度利用者数は392人、月平均の利用は721件(昨年度利用者数は398人、月平均利用件数749件)の利用であり、昨年度に比べ利用者数はほぼ横這いであった。
- ・子育てホームサポーターの定例会は、参加者の増加により本年10月30日より、当事務所から外部会議室となった。また、さらなる参加者拡大を目的に従来の月初1日開催からサポーターが最も集まりやすい月末最終土曜日に開催し、今までの定例会では実施が難しかったヒヤリハット分析結果に基づいたグループワークを定期的実施し、サポーターのサービス品質向上に務めた。

##### サポーター養成講座

本年度は養成講座42時間を受講した108人のうち、41人が新たに子育てサポーターとして登録し、子育てホームサポート事業に新たな戦力を得る事ができた。

##### 子育てサロン事業

- ・西保木間、関原に加え梅島サロンが新たにスタートし、3サロンで約2,100人の利用があった。
- ・定期的なサロンイベントでは従来のサロンスタッフに加え、利用者自らの自主的イベントや外部講師によるイベントを実施、さらには親子サロン本来の機能である「健康」「発育・発達」「教育・しつけ」等の一次相談窓口を実施する事により、地域住民が子育てを楽しみまた、母親同士の仲間作りの拠点として大きく貢献した。
- ・平成21年5月より梅島に一時預かりが始まり、231人の登録および月平均200時間の利用があった。

#### (3) 居宅介護支援事業

- ・ケアプラン作成利用者数は、H21.4月に63件/月であったがH22.3月には93件/月(昨年度H20.4 47件、H21.3 58件)、累計900件(昨年度596件)であった。
- ・ケアプラン作成数の増加に伴い、H22.3月より新任の介護支援専門員を1人増加し4人体制とした。
- ・必要性の高い高齢者の支援に努め、地域における要介護高齢者の生活向上に寄与に寄与するため、都・区・地域包括支援センター・他事業所の勉強会に参加した。更に勉強会の理解を共有するため、事業所に持ち帰り研修を行うなど自立(自律)支援に基づき専門性の高いプラン作成に努めた。

#### (4)通所介護事業（独自事業）訪問型・通所型

##### 訪問型

公的サービスでは対応できない規定から外れる内容を法人趣旨に基づいて対応している。

特に公的サービスも受けられず困惑する本人や家族の心身状況に配慮した対応をしてきた事やこの様な受け皿が有る事で、実際にはサービス利用をされていない方からも感謝の言葉を頂いている。

また、このサービスは数値実績以上に社会課題解決の為の新たな事業展開の検討材料として大事な意味を持っている。

安定した実施が出来る事業とする為に利用者からの利用料に対して10%の事務処理費を引いて協力者へ報酬支払をする事とした。

##### 通所型

- ・平成21年11月2日に助成交付が決定した足立公益活動げんき応援事業に基づき、平成21年11月1日から平成22年3月31日の期間にて「足立区東部地域福利需要実態調査」を実施した。なお、事業の成果として「足立区東部地域福利需要実態調査報告書」を作成し足立区へ報告すると同時に、当法人ホームページに掲載した。

- ・足立区より公募があった平成22・23年度地域密着型サービス拠点整備事業に（介護予防）小規模多機能型居宅介護として応募し、平成22年1月22日に地域密着型サービス拠点整備事業者として選定された。なお、（介護予防）小規模多機能型居宅介護については本年9月に足立区綾瀬7-4-5に「（介護予防）小規模多機能型居宅介護 スマイルぶらちな（仮称）」を開所する予定である。

- ・足立区より公募があった平成21年度足立区起業提案型緊急雇用創出委託事業に「地域人材サロン事業」を提案し、平成21年12月15日に採択された。なお、「地域人材サロン事業」については本年8月に足立区綾瀬地区に開所予定である。

#### . 組織運営関係

##### (1) 組織運営関係

- ・組織体制および組織運営に関する問題解決思考やリーダーシップを強化し、法人としての「信用力」を補完する事を目的に人材コンサルティング会社を活用し内部体制の見直しおよび研修を実施した。
- ・「新規事業の企画および実施」「300万円以下の事務所内外什器備品およびソウトウェア並びに関連する物品等の購入」「運営資金借入金（500万円を限度額とする）」について理事協議決定事項から事務局合議制決定事項に権限委譲し、事務の効率化を促進した。

##### (2) 広報関係

ホームページに法人活動情報を積極的に掲載すると同時に、Google Analytics を活用し SEO 対策を実施し、当法人ホームページアクセス向上に務めた。また、あだち協労パートナーサイトに当法人ホームページ内容の掲載を行い、当法人の広報を充実させた。

## 平成21年度(2009年度)決算報告書

## 収支計算書

自：平成21年4月1日

至：平成22年3月31日

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位：円)

収入の部		支出の部	
(特定非営利活動収支の部)			
第1項 会費・入会金収入	140,000	第1項 事業費	90,608,267
第2項 事業収入	114,378,919	第2項 管理費	19,418,868
第3項 寄付金・助成金収入	0	第3項 予備費	0
第4項 雑収入・受取利息	28,399		
第5項 特別利益収入	387,100		
(その他の資金収支の部)			
第1項 敷金・保証金戻り	0	第1項 借入金返済支出	0
第2項 借入金収入	0	第2項 敷金・保証金等支出	0
(繰越収支差額の部)			
前期繰越収支差額	6,396,798	次期繰越収支差額	11,304,081
合計	121,331,216	合計	121,331,216

## 貸借対照表

平成22年3月31日 現在

資産の部		負債・正味財産の部	
流動資産	25,503,375	流動負債	16,490,985
固定資産	2,291,691	固定負債	0
		正味財産	11,304,081
合計	27,795,066	合計	27,795,066

## 損益計算書

自：平成21年4月1日

至：平成22年3月31日

収益の部		費用の部	
(特定非営利活動損益の部)			
第1項 特定非営利活動法人	114,518,919	第1項 事業費	90,608,267
		第2項 管理費	17,618,248
(特定非営利活動外損益の部)			
第1項 受取利息・雑収入他	415,499	第1項 法人税等	1,800,620
(繰越利益の部)			
前期繰越利益	2,152,212	次期繰越利益	7,059,495
		(当期利益)	(4,907,283)
合計	117,086,630	合計	117,086,630

平成21年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

平成22年3月31日 現在

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額	
流動資産			
現金	現金手許有高	109,198	
普通預金	みずほ銀行/綾瀬支店	6,218,353	
	谷中郵便局	985,160	7,312,711
立替金			24,065
未収入金	東京都国民保険連合	12,592,520	
	足立区(委託料他)	4,253,886	
	利用者負担分	1,420,193	18,266,599
貸倒引当金			-100,000
流動資産 合計			25,503,375
固定資産 (有形固定資産)			
構築物			
車両運搬具			
工具・器具備品		138,390	
敷 金		206,000	344,390
有形固定資産 計			344,390
繰延資産	介護フソト		1,947,301
繰延資産			1,947,301
資産の部 合計			27,795,066
流動負債			
借入金	大竹恵美子	4,592,140	
未払消費税等	消費税等	597,200	
未払費用	3月分ヘルパ - 給与等	8,830,203	
前受金		105,000	
預り金	源泉所得税他	566,442	
未払法人税等		1,800,000	16,490,985
流動負債 合計			16,490,985
負債の部 合計			16,490,985
正味財産の部			
前期繰越正味財産			6,396,798
当期正味財産増加額			4,907,283
正味財産合計			11,304,081
負債及び正味財産合計			27,795,066

平成21年度 特定非営利活動に係る事業会計  
貸借対照表

平成22年3月31日現在

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位 : 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>		<b>流動負債</b>	
現金	109,198	借入金	4,592,140
普通預金	7,203,513	未払費用	8,830,203
立替金	24,065	未払消費税等	597,200
未収入金	18,266,599	預り金	566,442
貸倒引当金	-100,000	前受金	105,000
		未払法人税等	1,800,000
<b>流動資産合計</b>	<b>25,503,375</b>	<b>流動負債合計</b>	<b>16,490,985</b>
		<b>固定負債</b>	
		<b>固定負債合計</b>	<b>0</b>
<b>固定資産</b>		<b>負債合計</b>	<b>16,490,985</b>
(有形固定資産)		<b>正味財産の部</b>	
構築物		前期繰越正味財産	6,396,798
電話加入権			
工具・器具備品	138,390	当期正味財産増加額	4,907,283
敷金	206,000		
(投資等)			
繰延資産	1,947,301		
<b>固定資産合計</b>	<b>2,291,691</b>	<b>正味財産合計</b>	<b>11,304,081</b>
<b>資産合計</b>	<b>27,795,066</b>	<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>27,795,066</b>



平成21年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	金	額
(資金収支の部)		
・ 経常収入の部		
1. 会費・入会金収入		140,000
入会金		
正会員会費	140,000	
2. 事業収入		114,378,919
訪問介護事業		50,987,871
・訪問介護	31,982,174	
・自立支援	18,924,097	
・ぶらちな独自	81,600	
子育て支援事業		52,245,690
・子育てホ - ムサボ - ト	40,730,298	
・サロン事業(西保木間・関原・梅島)	10,598,900	
・子育て養成講座	916,492	
通所介護事業		0
居宅介護支援事業		11,145,358
3. 助成金・寄付金収入		
4. 雑収入・受取利息		28,399
受取利息(預金利息)	2,401	
雑収入	25,998	
5. 特別利益収入		387,100
貸倒引当金戻入	0	
納税充当金戻入	387,100	
経常収入合計		114,934,418
・ 経常収出の部		
1. 事業費支出		90,593,867
訪問介護事業費		36,161,867
・訪問介護	22,463,592	
・自立支援	13,698,275	
子育て支援業費		46,302,625
・子育てホ - ムサボ - ト	33,984,419	
・サロン事業費(西保木間・関原・梅島)	11,845,902	
・子育て養成講座他	472,304	
通所介護事業費		14,400
居宅介護支援事業		8,129,375
2. 管理費支出		19,418,868
給料手当	4,190,000	
福利厚生費	357,244	
会議費	5,424	
旅費交通費	585,920	
通信運搬費	1,474,325	
消耗什器備品費	1,650,433	
事務用消耗品費	538,612	
賃借費	1,483,000	
保険料	68,294	
租税公課	159,100	
渉外費	0	
水道光熱費	172,181	
研修会費	522,473	
法定福利費	4,159,674	
リ - ス料	939,885	
減価償却費	507,984	
消費税等	597,200	
委託料	60,000	
貸倒引当金繰入	27,000	
雑費	119,499	
法人税等	1,800,620	
経常収出合計		110,012,735
経常収支差額		4,921,683
当期収支差額		4,921,683
前期繰越資金有高		6,396,798
次期繰越収支差額		11,318,481

# 監 查 報 告 書

別紙参照

平成22年(2010年)度事業計画(案)

自 平成22年4月1日  
至 平成23年3月31日

1. 事業方針

今後、我が国は2055年には65歳以上が全人口の40.5%、出生は50万人を割り込むと予想されている。この様な中、介護保険の持続担保と少子化対策として地域社会に根ざす特定非営利活動法人としては地域福祉の再構築に向けて、あらゆる可能性にチャレンジしていく事が重要と考えられる。

そこで、当法人は従来事業の発展的継続運営に加え、新たな地域福祉の再構築に向けて平成22年度は8月に地域人材連携サロン、9月には小規模多機能型居宅介護を開所する予定であり、さらには子育て支援事業では従来の一時預かり(旧名 子育てホームサポート)に加え4月より月極め保育がスタートし介護事業では行動援護事業がスタートする予定である。

この様に地域福祉の再構築に向け新たな試みを実施して行くが、事業拡大に伴いより効率的でダイナミックな組織運営が求められるため、さらなる地域人材の活用と組織内部の再構築やスタッフおよび常勤職員に対する教育・研修を実施していく。

2. 各事業計画概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人員	実績額(支出額) 単位:千円)
訪問介護事業	・介護保険訪問介護事業 ・自立支援居宅介護事業所 ・ガイドヘルプサービスのヘルパー派遣並びに自立支援(身体介護・家事援助・移動介護) ・定例会 ・研修	24時間 毎日	利用者宅及び移動介助先  事業所内	90名 (介護保険50名・障害者自立支援40名)	足立区内90名	47,000
子育て支援事業	・あだち子育て応援隊事業(一時預かり) ・あだち子育て応援隊事業(月極め保育)	6~22時	利用者宅もしくはサポーター宅	90人	450名 10名	92,600
	サポーター養成講座	H22年10月	ギャラクシティー	5人	50人	
	・サロン事業(親子サロン) ・サロン事業(一次預り)	10~16時 (日祝日を除く)	梅島	14人	1,200人 65人	
居宅介護支援事業	高齢者・障害者等のケアプラン作成としての事業	9~18時	利用者宅	4人	900人	11,000
通所介護事業(独自事業)訪問型・通所型	訪問型 ボランティアによる事務局コーディネートと有償スタッフによる在宅生活支援。	24時間毎日	事務所(電話・来所)利用者宅および利用者に指示された場所	5人	5人	37,000
	通所型 ・小規模多機能型居宅介護事業 ・地域人材サロン事業(綾瀬地区、新田地区)	24時間毎日 9~18時(日祝日を除く)	開所予定地 開所予定地	8人 4人	63人 900人	

### 3. 事業目標

#### (1) 訪問介護事業

- ・ 様々な疾病の利用者に対し残存能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるよう、サービスを提供していく。
- ・ 利用者個々のニーズを満たす為に、関連職種・および機関と連携し、共通認識・共通目標を持ち、情報の共有化に努める。
- ・ 行政にも相談、助言を求め、利用者や家族の心のケアに対しても、迅速対応できる良いサービス提供を心がける。
- ・ 介護従事者自身の健康管理に努める。

#### (2) 子育て支援事業

##### あだち子育て応援隊事業

- ・ 新たに月極保育が開始され、さらには従来の利用者宅保育に加えサポーター宅保育が可能になったため、サポーターのサービス品質を今以上に高めると同時に、安全性やコンプライアンス順守を徹底させる事を重点施策として、現在実施されている定例会の見直しを常に実施していく。
- ・ 多彩なサービスの実施に伴い、その役割がより重要となるコーディネーターに対し、定例会開催前にコーディネーターミーティングを必ず実施すると同時に、「first contact」の重要性を認識してもらうため定期的な研修を実施し、コーディネーターとしてのレベル向上を実施する。
- ・ 利用者からの言葉に耳を傾け、地域社会に有益な制度の形を提供するため、利用者アンケートを実施し、当法人ホームページに公表する。

##### サポーター養成講座

昨年度に引き続きサポーター養成講座を実施すると同時に、新たなサポーターの掘り起こしを行う。

##### 子育てサロン事業

- ・ 子育てサロン本来の機能を担保しつつ、地域における子育て家庭交流の場として有効に活用されるよう、地域住民との連携や利用者の自発的イベント主催を重点施策とする。
- ・ 子育てサロン、一時預かり同敷地同法人開所の利点を最大限に発揮するため、両施設の連携を一層強化する。
- ・ あだち子育て応援隊事業との連携を今以上に強化し、地域における子育てが一通貫で実施されるよう心掛ける。

#### (3) 居宅介護支援事業

利用者の生活歴等に配慮し、利用者らしい生活の質の保持、自立（自律）支援の法人理念に沿って広く情報提供を行っていく。また、社会に貢献する意味でも、国・保険者等各関係機関にも問題提起していく。

#### (4) 通所介護事業（独自事業）訪問型・通所型

##### 訪問型

地域社会の課題可決の為、NPO の視点と独自性を織り交ぜ“ 地方自治体や他団体との協働 ” を視野に入れて、生活者としての人間力が生かせる事業にする事を意識して行政や他団体との意見交換を今年度も積極的に行う。

##### 通所型

- ・ 小規模多機能型居宅介護事業

- 平成 22 年 9 月の開所を目指し、施設改修、人員の確保・教育を実施する。
- 開所後は利用者の拡大を目指し、対外的 PR の実施と同時にサービス品質向上を目指す。
- ・地域人材サロン事業（綾瀬地区）
  - 産学官連携を基本とした運営委員会を開催し、「運営方法」「運営場所」「施設内容」「関連機関との連携」「独立採算」について継続的に協議を実施する。
  - 開所後は利用者の拡大を目指すと同時に、独立採算を目指す観点から民間企業との連携を密接にして、収益向上に繋げる。
- ・地域人材サロン事業（新田地区）
  - 平成 23 年度に独立行政法人都市再生機構との協同運営を目標に、平成 22 年度は単発的なイベントを実施する。

## 2. その他の計画

新たな事業がスタートする事に伴い常勤職員を含めた職員の拡大が見込まれるため、就業規則、賃金規程、業務分掌を見直す。但し、型式に捕われて“小回り良く動く NPO”としての持ち味を生かせなくなる事が無い様に配慮していく。

## 平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書(案)

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

## 特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	金	額
(資金収支の部)		
・ 経常収入の部		
1. 会費・入会金収入		150,000
入会金	0	
正会員会費	150,000	
2. 事業収入		197,600,000
訪問介護事業		53,000,000
・訪問介護	33,000,000	
・自立支援(行動援護含む)	20,000,000	
子育て支援事業		103,500,000
・子育てホ - ムサボ - ト	95,000,000	
・梅島サロン・一時預かり	7,500,000	
・子育て養成講座	1,000,000	
通所介護事業		29,100,000
・地域人材サロン	12,100,000	
・小規模多機能型居宅介護	17,000,000	
居宅介護支援事業		12,000,000
3. 助成金・寄付金収入		27,000,000
4. 雑収入・受取利息		55,000
受取利息(預金利息)	5,000	
雑収入	50,000	
5. 特別利益収入		0
貸倒引当金戻入	0	
納税充当金戻入	0	
経常収入合計		224,805,000
・ 経常収出の部		
1. 事業費支出		187,600,000
訪問介護事業費		47,000,000
・訪問介護	30,000,000	
・自立支援	17,000,000	
子育て支援業費		92,600,000
・子育てホ - ムサボ - ト	85,000,000	
・梅島サロン・一時預かり	7,000,000	
・子育て養成講座	600,000	
通所介護事業費		37,000,000
・地域人材サロン	11,000,000	
・小規模多機能型居宅介護	26,000,000	
居宅介護支援事業		11,000,000
2. 管理費支出		27,570,000
給料手当	5,000,000	
福利厚生費	500,000	
会議費	200,000	
旅費交通費	800,000	
通信運搬費	2,000,000	
消耗什器備品費	800,000	
事務用消耗品費	1,000,000	
賃借費	5,000,000	
保険料	150,000	
租税公課	200,000	
渉外費	20,000	
水道光熱費	1,000,000	
研修会費	2,000,000	
法定福利費	4,000,000	
リ - ス料	2,400,000	
減価償却費	1,000,000	
雑費	500,000	
予備費	1,000,000	
経常収出合計		215,170,000
経常収支差額		9,635,000
・ その他資金収支の部		
1. 借入金収入		18,500,000
長期借入金収入	18,500,000	
・ その他資金支出の部		
1. 固定資産取得支出		28,000,000
小規模多機能内装費等	28,000,000	
当期収支差額		135,000
前期繰越資金有高		11,304,081
次期繰越収支差額		11,439,081

## 理事及び監事選任の件

各理事(5名)及び監事(1名)は、平成22年4月30日を以って任期満了となりますので、新たに理事及び監事を選任したいと存じます。

## 現在の役員構成

理事長	大竹恵美子
理事	薯野純子
理事	田崎和夫
理事	熊谷英雄
理事	三井元子
監事	谷口良実

理事及び監事候補者については、次のとおりであります。

- \* 理事 大竹恵美子
- \* 理事 薯野純子
- \* 理事 田崎和夫
- \* 理事 熊谷英雄
- \* 理事 三井元子
- \* 監事 谷口良実